

メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2023  
第5回地盤改良展へ出展いたします!!

会期 2023年7月26日(水)~28日(金) 3日間 10:00~17:00

会場 東京ビッグサイト 東展示棟

皆様のご来場をお待ちしております。



## 2022年度「営業賞」「技術賞」受賞

## 営業賞

- ・株式会社 中川商店 宮下 義友 様
- ・株式会社 グランテック 村木 和隆 様

## 技術賞

- ・株式会社 eco・カンパニー 斎藤 裕 様

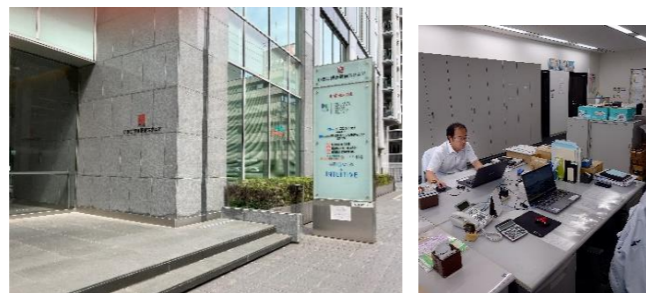
## ノベルティ制作について

今年度のノベルティは『エコバック』を製作中です。完成後皆様へ配布いたします。次回のノベルティについてご要望などございましたら、事務局までご連絡下さい。

spassoc.info@cons-hd.co.jp

NEW  
グランテック  
九州営業所開設のご紹介

令和5年4月より福岡県に九州営業所を開設しました。まだ所員2名の小さな営業所ですが、これからほかの拠点に負けたくないくらい大きな営業所を作り上げていきたいと思っております。協会の皆様のご協力何卒宜しくお願い致します。



## 会員一欄

正会員	株式会社 アイ機	株式会社 イートン	株式会社 eco・カンパニー	株式会社 柿崎工務所
株式会社 ジョック技研	地建興業 株式会社	千代田機電 株式会社	株式会社 中川商店	有限会社 平居建設
ビルダーサポート 株式会社	株式会社 福田テクノ	富士貴建装 株式会社	株式会社 ライフベース	株式会社 レクティオ
準会員	株式会社 第一工業	株式会社 日建コンサルティング	株式会社 西尾技建	
協力会員	株式会社 シロタ	株式会社 ヒヨシ	株式会社 セーフテック	
賛助会員	一般社団法人 ハウスワランティ	株式会社 GIR	一般社団法人 不動産検査保証機構 レイウス	
特別会員	株式会社 コンステックホールディングス	株式会社 グランテック		

## 副会長ご挨拶

株式会社レクティオ  
代表取締役  
平田 壮介

協会員の皆さま、日頃よりスクリー・プレス工法協会の運営にご尽力いただき、心から感謝申し上げます。本協会の副会長に就任して早いもので、今年度で3期目を迎えることとなりました。

スクリー・プレス工法は、これまで多くの住宅地盤改良に寄与してまいりました。この工法により、数多くの家庭が地盤沈下を恐れることなく、安心して生活を送ることが可能となりました。その結果、当工法が社会に提供する価値に伴い、着工件数は着実に増加し、発展を続けてまいりました。一方で、私たちが営利団体として、今後も安定した進展を続けるためには、マクロ経済環境を見据え、今後の方針を決定することが必要と考えています。

現在、建設業界に最も深刻な影響を及ぼしているのが建設資材の価格高騰です。これは多種多様な要因が複雑に絡み合う問題であり、早期解決の見込みは低いと考えられます。資材価格の上昇は住宅価格の増加を引き起こし、これが当業界の地盤改良の提供価格に大きな影響を及ぼすことは明らかです。

そのような状況下で、スクリー・プレス工法と協会員の皆さまが、ビジネスを安定的に発展させていくための重要な要素となるのが、非住宅（大型）プロジェクトへの取り組みと、ビジネスのデジタルトランスフォーメーション（DX）だと考えています。

非住宅プロジェクトへの参入は、スクリー・プレス工法自体、さらには地盤や建築物といった要素に対する深い理解が必須となります。ただし、多くが小規模な現場である住宅の地盤改良と比較すると、非住宅プロジェクトはより高い効率性を誇ります。一方、デジタルトランスフォーメーション（DX）の実現には、強い目的意識と持続可能な忍耐力が求められます。しかし、人材不足や施工費用高騰に悩む建設業界では、これらの課題を克服する大きな助けとなり得ます。

この挑戦は容易なものではありませんが、本協会は会員の皆さまと共に、全力で取り組む準備をしております。私たちの技術が、事業と日本経済の発展に貢献できることを心から願っております。

◆ スクリュー・プレス工法協会 第6回定期総会 ◆

令和5年5月12日(金)トラスシティカンファレンス・京橋会議室においてスクリュー・プレス工法協会第6回定期総会を開催いたしました。昨年までの3年間は新型コロナの影響により開催を見合わせていたため、久しぶりに対面にて交流する総会となりました。

総会は3部構成とし、第1部の議案審議では株式会社レクティオの代表取締役である平田様に議長を務めていただき、予定通りに議案審議を執り行うことができました。第2部は協会顧問である長岡技術科学大学大学院の大塚悟教授にご講演いただきました。前回同様、非常に興味深い内容に参加者一同真剣に耳を傾けていました。第3部では株式会社eco・カンパニーの斎藤社長と、株式会社ライフベースの濱田社長に施工事例の発表をいただきました。また、新しく協会員となった皆様に一言ずつご挨拶をいただきました。平田様に閉会のご挨拶をいただき、無事に総会を終えることができました。



総会後の懇親会も同じ会場で行いました。スクリュー・プレス工法の発展に大きく貢献された方々に「営業賞」「技術賞」の表彰を行い、工法本部である株式会社グランテックより前年度の施工長ランキング上位3社様に表彰を行いました。懇親会は終始和やかな雰囲気が進み、久しぶりの再会に会話も弾みました。協会員同士この協会の活動意義を再確認した総会となりました。ご参加いただきました協会員の皆様に感謝申し上げます。有難うございました。

2022年度施工長ランキング

- 1位 株式会社eco・カンパニー
- 2位 株式会社ライフベース
- 3位 株式会社レクティオ



新規会員紹介



地建興業株式会社 株式会社柿崎工務所



株式会社ビルダーズサポート



株式会社イトン



工法本部より

スクリュー・プレス工法の締固め効果について

グランテック株式会社  
技術部  
東 知樹

コロナ禍で開催されていなかったスクリュー・プレス工法の総会が、昨年開催されました。そこで大塚教授からは、スクリュー・プレス工法の締固め効果を評価した、液状化対策としての工法使用について講演がありました。現在、スクリュー・プレス工法の液状化対策工法としての検討書では、間隙水圧消散効果を見込んだものになっております。しかしながら、砂質土層の地盤でスクリュー・プレス工法の施工を行うことで地盤の締固め効果があり、地盤が締め固まることで液状化対策として効果が発揮されることがわかっております。

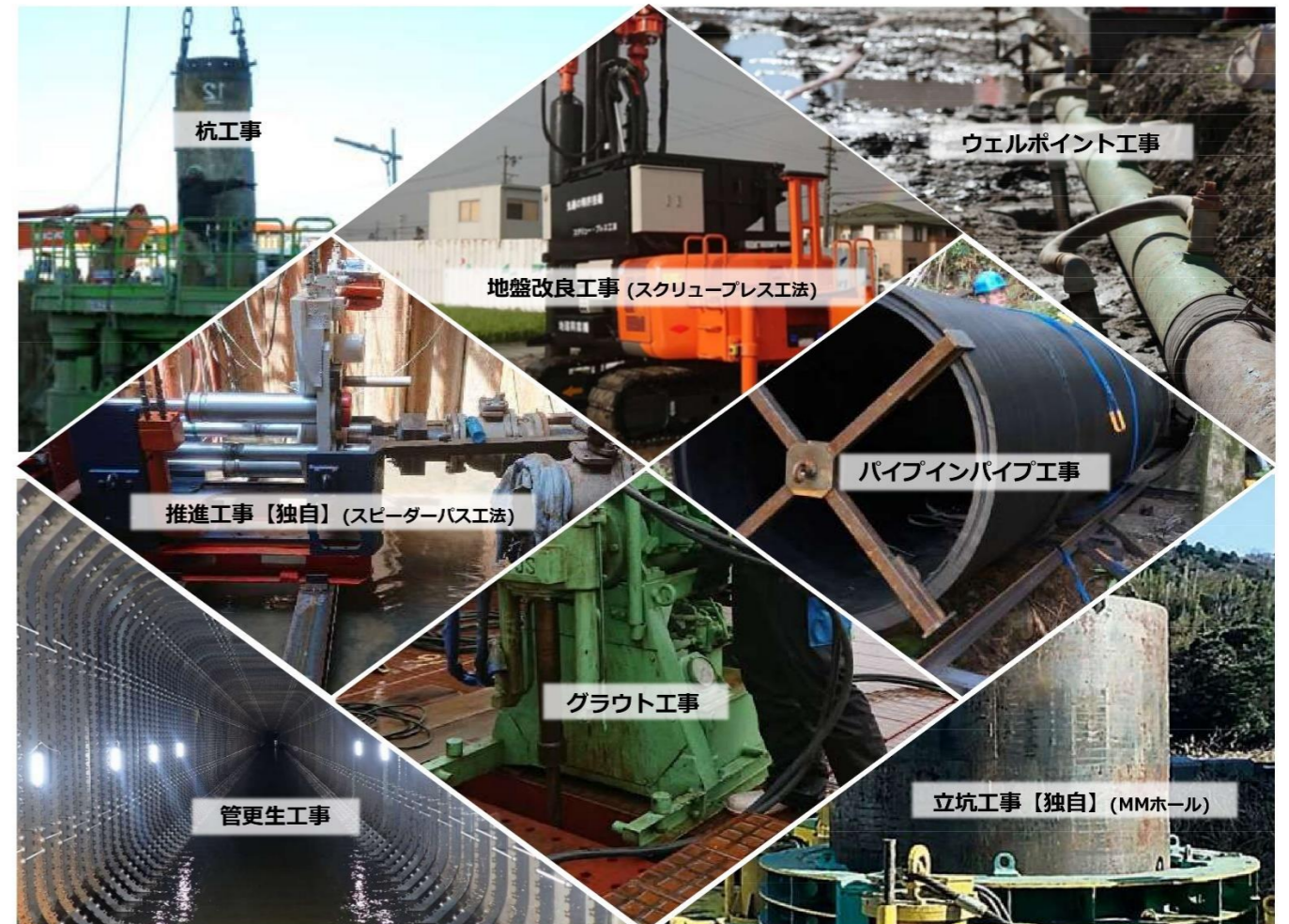
今期の技術部として、この締固め効果を用いた液状化対策工法としての検討書の作成に取り組みたいと考えています。

スクリュー・プレス工法では施工後に原地盤も施工前と比較して強くなっていることは実践的には解っていましたが、定量化されていないため複合地盤工法としてその効果が反映されていることはありませんでした。今後は締固め効果の定量化と、粘性土地盤における圧密沈下促進効果の定量化を目指し、より競争力を高めた工法として皆様に案内していきたいと思っております。

# Devoted in drilling pipe

## 「技術者の誇りを胸に 難しい仕事へチャレンジ」

これが創業から受け継ぐ地建スピリッツです



私たち地建興業は国内ライフライン管路の整備を主軸に JICA事業においてインドネシアの下水道普及にも貢献していきます

★当社の会長が建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰を受賞しました！

★2021年「はばたく中小企業・小規模事業者300社」に選ばれました！



←詳しくはこちら HPをご覧ください



大地にアプローチする技術

地建興業株式会社